

子は親の鏡

(ドローシー・ローノルト)

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
 とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
 不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
 「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
 子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる
 親が他人を羨(うらや)んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
 叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
 励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
 広い心で接すれば、キレる子にはならない
 誉(ほ)めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
 愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
 認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
 見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
 分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
 親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
 子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
 やさしく、思いやりを持って育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
 守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
 和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世はいいところだと思えるようになる

どっちが大事？

鶴城中だより

文責
 校長
 田上明利
 No.6

後ろ姿を見て育つ

子どもは、親の後ろ姿を見て育つといいますが。米国の教育学者ドローシー・ローノルトは、親の行動や姿勢が、子どもにどんな影響を与えるか提言しています。

最近、スマホ等の型携帯パソコンで高価で問題が取り上げられる。ガラケー(携帯電話)とは違い、スマホやタブレットはパソコンと同じで、言い換えれば、超小型携帯パソコンで高価です。使い方次第ではどんなでもない事件に巻き込まれるという落とし穴も待っています。出会い系サイトだけでなく、ゲームサイトからこの光景を見た赤ちゃん

赤ちゃんにおっぱいを飲ませている母親が片手でスマホをさわっている。

この赤ちゃんには、母親がどのように映っているのでしょうか。何度も何度もこの光景を見た赤ちゃん

事件に巻き込まれるケースが後を絶ちません。SNS(ラインやフェイスブックなど)でのトラブルも多発しており、これまでも何度となく啓発しています。さて、次の光景を想像してください。

「この人(母)は、僕より、スマホが大事なんだと思ってしまうよ」と保健師さんは母親に話されたといえます。赤ちゃんの顔を見ながらおっぱいをあげるというのは当たり前です。しかし、デート中の若い男女が、話をすることなく、互いにスマホをいじっている。町中の至る所に腰掛け、手にしているのはスマホ。母親が料理中に幼児の手にはスマホ。食事中もそれぞれの手

にスマホ。勉強しているふりして、夜中までこっそりスマホ。驚きの姿がたくさんあります。スマホを通して愛情が伝わるはずはありません。大切な何かを受け取らずに育った子どもが親になった時、その子どもにどのような愛情を伝えるのでしょうか? 何年後かに親になる子どもたち、大丈夫でしょうか。上記のエッセイを家庭教育の参考にしていただくとともにスマホの使い方について家庭で話し合ってみてください。

夏季休業中のPTA行事等のお知らせ

いよいよ、七月二十一日から夏休みになります。ですが、保護者の皆様に関係のある行事等について、再度お知らせしておきます。

7月

- 21日(土)22日(日) 県中体連大会
- 23日(月)午前7時〜 地区別ボランティア(児童・生徒のみ)
- 23日(月)19時30分〜 地区懇談会
- 25日(水)午前9時〜 PTA親子料理教室

8月

- 5日(日)午前7時〜 リサイクル活動(廃品回収)
- 13日(月)〜15日(水) 学校閉庁(学校には職員が誰もいません)
- 16日(木) 山鹿灯籠祭補導
- 19日(日)午前6時〜 PTA親子奉仕作業
- 20日(月) 登校日、卒業生の話を聞く会

全県ジュニアソフトボール大会

7月10日(火)昼休みに、生徒会主催の全校レクリエーションがありました。アンケートの結果希望が多かったドッジボールで紅白対抗で競い合いました。

朝トレ・夕トレ、体育の授業とは違って、和気あいあいと楽しんでいたようでした。生徒主体で行うこうした活動を今後もしつと企画立案し、閉校の年の思い出づくりをしてほしいと願っています。ちなみに、勝利したのは紅団でした。

